

# 美浜町教育委員会との話し合いのまとめ

2022年10月26日(水)16:00～

参加者 教育委員会:伊藤 守 教育長/夏目 勉教育部長 /近藤淳広学校教育課長/竹内稔博指導主事  
知多地方教職員労働組合:佐田京美/榊原賢也/市野 司

## 1 部活動について

組 中学校の部活動の地域移行について令和5年度から7年度にかけて休日の活動を地域移行するとスポーツ庁の提言が出た。美浜町の動きはどうか。

教 ・生涯学習課が主体となり学校と学校教育課でしっかりと話し合い進めていく。日本福祉大学ではスポーツ科学部も設置されていて、美浜スポーツクラブが大学と連携している。民間も含めた色々な可能性があると思われる。1年目2年目という年度毎の計画はまだない。

・兼職兼業の計画については、先生の希望があれば協議の場をもって検討していく。

・まずは休日の移行の可能性について、モデル的に学校を決めて実施をしていきたいが、まだ明確なビジョンはない。実態に即して検討していく。

・学校から部活を切り離していくことについては、生涯スポーツ地域スポーツも視野に検討していく。

・民間活力の活用も含めたことをやっていきたい。教員の働き方改革もあり、教員と切り離すのはよいと考えている。3年間時間をかけて検討していく。

・小中一貫校は令和10年度開校を目指している。特色の一つとして日本福祉大スポーツ科学部と連携したスポーツ活動を考えて行く予定。

・朝部活動は、6,7月はなし。後は各校の実情、顧問の判断で止めているところも多々ある。

・最終下校は、一番長いところで18:00。学校での裁量だが、18:00で慌てて帰るというシーンはない。年中ゆとりをもったルーティンで回っているのが現状。

・冬の部活動は、学校の裁量だが、午後はほとんどしていない。

・統合型地域スポーツである美浜スポーツクラブや民間の文化活動の教室などが美浜町にはある。

組 今の部活動のあり方については、試合やコンクールに向けてが強い。そのあり方を継続して地域

移行するののか？

教 発想を変えていかないとうまく地域移行できないと思っている。ただ、現状を見るといろいろと壁がある。たとえば、進路指導上での実績記録や試合があるのは土日のため、任意となったとき子どもたちをどうしたらいいかという課題がある。

組 生涯スポーツ・文化をやっていくのが教育現場という発想でメスを入れるところがほしい。入試での対応については、県と話し合いをする場はないのか？

教 話し合う場はない。スポーツ庁の方針も突然出された感覚である。県の中体連も慌てているというのが現状だと認識している。

組 小学校部活の現状はどうか。

教 やってない。陸上は臨時的に集めたメンバーでやっている。記録会をやったからの参加程度。

組 部活は希望制か？

教 そうだと思う。

組 中学生に対する部活動以外の活動の情宣はあるか？学校で部活紹介の場でやれないか？学校以外の活動にも目が向くようになるだろう。

教 広報で広く紹介している。

## 2 勤務時間等について

組 休憩時間は取れないということを共通認識にしてほしい。美浜町では、休憩を取ったこととして集計しているが、休憩は取れてないのが実態だ。子どもがいる間は子どもに対応している。これは手待ち時間として勤務に入る。16時間ぐらい超過が増える計算になるはず。

教 実態として教育課題への対応で休憩を取れない状況であるとは思っている。少なくとも、休憩時間に会議を持たないようにとは指導している。今後もしできる工夫をしていきたい。

使用している勤怠ソフトでは各自で休憩を取れなかったという記録ができない。タイムカード使用。

組 そのソフトは教員の実態を把握するのにふさわしくない。自分で操作できないのはよくない。

教 検討していく。

組 休憩は取れてない日の方が多いので、休憩が取れたら変更という風に設定を変えられないのか。  
教 調べてみる。

組 編集を伴う冊子について、編集作業に人を取られ授業ができなくなるので、なくすべきである。美浜町だけの問題ではないが、教師による編集の冊子が必要なのか、代用品でも良いのか、必要ないのか、その実態調査をしてはどうか。調査の結果で「なくてもよい」と判断されたならば切っていけばよい。

教 校長からの予算要望を受けて必要であると考えている。町教委はアンケートする立場にない。

組 校長は、教師の意向を聞いていない。当然買うものとして注文を取っている。調査を校長に提案してほしい。特になくてもよいものを出張して作っているのであれば無駄なこと。話題にしてほしい。尾書研の手本も1枚25円もするが高い。データがあれば学校で印刷できる。

教 見直しはしている。健康手帳はやめた。

組 学校訪問の時には、多忙化解消に向けての指導をすることになっているのでやってほしい。

教 そうしていきたい。

### 3 小中学校の統合について

組 説明が町民に伝わっていないのではという声をよく聞く。代表のような人のみの説明会で、現役の父母や地域住民・教職員など、広い立場の人に説明会を開いてほしい。

教 順序立てて説明会を行っている。令和10年度に小中一貫校の開校を予定しているので、全てのエリアでの説明会を予定している。2学期になって、5つの小学校区で、PTA委員会に出向いて順番に行っている。区長、小学校のPTA会長、保育園の方も入れたワークショップを今月から継続してやっていく。今は広報やHPの案内にとどまっているが、今後は各地に出向いて住民説明会を開いていく。

組 代表ではなくて、誰でも参加できるという説明会を開いてほしい。

教 やっていく。今はワークショップだが、住民説明会は来年度からやる。

組 今のところ統合に向けて何が決まっているのか。  
教 何も決まっていない。令和10年度に小中一貫校を開校したいという目標を説明している段階。人口減少など保護者と現状を共有して提案をしている。ワークショップは一方的な説明会ではない。

組 中学生は自転車通学になるのか？

教 スクールバスも走らせる。自転車通学と併用。安全な通学が一番の課題。

組 小中一貫だけでなく他の選択肢は考えていないか。たとえば東西で各1校残すとか。ケースごとにメリット・デメリットを示すという考えはないか。

教 中学校の単学級を避けたい。文科省が示す複数の学級を維持するためには1校にするのが子どもたちにとってよりよい教育環境だと考えている。

組 具体的な人数を上げて、わかりやすい説明を求めたい。一番いい方法を考えていける場を作してほしい。

長距離自転車通学者が出るが、自転車道が整備されているのか、途中でパンクしたらどうするかなど、具体的に自分が自転車で通学することを想定してキチンと整備してほしい。見切り発車にならないように。

30人学級などの特色を出してほしい。

委 単なる統廃合ではなく特色ある統廃合をしたい。30人学級の話はまだ出てきてない。

組 多忙化につながる特色はやめてほしい。普通に地道にキチンとやる、そのような学校がいい。

組 特定事業主行動計画を教職員にも適用してほしい。

教 美浜町は計画を作っている。

組 教職員は県費負担であっても、各自治体で作成することになっている。

組 美浜町では、現在、未配置は何人いるか。

教 1人。

組 あらゆる手段で見つけてほしい。勤務時間を守り、ブラックな体制から一刻も早く脱し、魅力ある職業であることをアピールできるようにすることが急務である。

以上